

2
2004年10月22日

内閣府 原子力委員会 御中

平野 良一

「ご意見を聴く会」 出口アンケート結果について

一昨日は遠路、青森市での「長計ご意見を聴く会」開催有り難うございました。
その際に当地の市民グループが実施しました、参加者への出口アンケート結果が別紙の
ように纏められましたので、ご参考まで送付いたします。
斎藤委員長代理はじめ出席いただいた原子力委員及び策定会議委員は勿論、近藤委員長
や他の原子力委員と策定会議委員の方々へも供覧に付していただければ幸甚です。

別紙

第17回原子力委員会「ご意見を聴く会」市民出口アンケート集計結果 A 4 版 4 頁

2004年10月20日

第17回原子力委員会「ご意見を聴く会」市民出口アンケート集計結果

青森県民の意見を新長計に反映させる会

《全般的に》

*回収総数 26部

*質問 1:「ご意見を聴く会」で、再処理について県民はよく理解でき、不安が解消されたとおあなたは思いますか?

① 思う=5、② 思わない=20、③ 分からない=1

*質問 2:あなたは、再処理工場のある産地と原子力施設が全くない産地の、見た目も値段も全く同じ野菜が並んでいたら、どちらを買いますか?

① 再処理工場のある産地=0、② 原子力施設が全くない産地=18、

③ まったく気にしない=8

*質問 3:再処理工場のウラン試験はこれまで延期が続いていますが、これについてどう思いますか?

① すぐに始めた方がいい=7、② 当分見合わせた方がいい=3、

③ これから先も中止した方がいい=14、④ 分からない=2

*回答者の年齢と性別

① 男性=15人(内 50歳代=7人、60歳代=5人、70歳代=3人)

② 女性=11人(内 50歳代=5人、60歳代=4人、

70歳代=1人、80歳代=1人)

*回答者の職業別

① 男性・公務員=3人、・農林水産業=1人、・電力関連=1人、

・製造業=3人、その他=7人

② 女性・自営業=1人、・農林水産業=1人、・製造業=1人、・その他=8人

*回答者の居住地 青森県内=19人、青森県外=1人、無記入=6人

《個別的に》

*質問 1:に①「思う」と答えた人

・男性=4人(50歳代=3人、60歳代=1人、公務員=1人、

電力関連=1人、製造業=2人)、

・女性=1人(70歳代=1人、その他:PA活動=1人)

記入されていたコメント

・自分の勉強不足を他人(世間)の所為にするのは止めるべき(男性・公務員)

・解消したとは思わないが、その方向での会議だったと思う。(男性・電力関連)

・ただし、やり方による。(女性・PA活動従事者)

*質問 1:に②「思わない」と答えた人

・男性=11人(50歳代=5人、60歳代=3人、70歳代=3人)

公務員＝2人、農林水産業＝1人、製造業＝1人、その他＝7人)

・女性＝9人(50歳代＝5人、60歳代＝3人、80歳代＝1人)

自営業＝1人、農林水産業＝1人、製造業＝1人、その他＝6人)

記入されていたコメント

- ・意見を聴くに大変急で、一般市民はなかなか参加できない。県民の8～9割は核燃サイクルに反対・不安(様々なアンケートで)を持っている。(男性・公務員)
- ・当面、再処理はそのままにして議論をするべし、
原発がとまっても仕方ない。(男性・公務員)
- ・もっと県内で多くの会場と時間を長く取るよう配慮すべきである。(男性・その他)
- ・10年前の試算について明らかにしなかったから(男性・その他)
- ・他の人達はどう思ったか分からないが、少なくとも自分は理解できませんし、
不安も却って大きくなりました。(男性・その他)
- ・放出放射能、事故等、再処理工場の不安は解消されることは無いでしょう。
(無職の女性)
- ・まったく思わない。益々不安はつのっていると思う。(女性・その他)
- ・もっと詳細に説明して欲しい。(男性・その他)

*質問 1:に③「分からない」と答えた人

・女性＝1人(60歳代、その他)

*質問 2:に②「原子力施設が全くない産地」と答えた人

・男性＝10人(50歳代＝4人、60歳代＝3人、70歳代＝3人、

公務員＝2人、農林水産業＝1人、その他＝7人)

・女性＝8人(50歳代＝5人、60歳代＝3人、

自営業＝1人、農業＝1人、製造業＝1人、その他＝5人)

記入されていたコメント

- ・推進派の方々はどのようなのでしょうか。何でも食べるのでしょうか。(男性・その他)
- ・当たり前、茨城県物は特に避けたい。(男性・公務員)
- ・当然です。(男性・その他)
- ・食の安全に関しては、これから益々時代は敏感になっていくと思う。(女性・その他)
- ・多少でも不安のある物を子供達に(勿論自分も)食べさせられない。(無職の女性)

*質問 2:に③「まったく気にしない」と答えた人

・男性＝5人(50歳代＝4人、60歳代＝1人、

公務員＝1人、電力関連＝1人、製造業＝3人)

・女性＝3人(60歳代＝1人、70歳代＝1人、80歳代＝1人、

その他＝3人;PA活動従事者1人を含む)

記入されていたコメント

- ・鮮度(品物)の良い方を買う。(男性・公務員)
- ・科学的判断をすれば、気にする必要は全くない。(男性・電力関連)
- ・それ以上の危険を含んだ食材が当たり前のように店頭に並んでいる。(女性・その他)
- ・よほどのことがない限り汚染はない。これは誘導設問である。

こういう設問が風評被害をつくる。(P A活動従事者)

* 質問 3:に①「すぐ始めた方がいい」と答えた人

- ・ 男性=5人(50歳代=4人、60歳代=1人、
公務員=1人、電力関連=1人、製造業=3人)
- ・ 女性=2人(50歳代=1人、70歳代=1人、その他=2人; P A活動従事者を含む)

記入されていたコメント

- ・ 本来、技術面の安全性問題と心の問題の安心とは別の次元のもの(男性・公務員)
- ・ 硝酸試験結果がOKなら(女性・P A活動従事者)
- ・ 早く結果を出し、良しにせよ、悪しきにせよ国民に説明してからでも
核燃料サイクルを決めるのは遅く無いんじゃないでしょうか?(女性・その他)

* 質問 3:に②「当分見合わせた方がいい」と答えた人

- ・ 男性=1人(50歳代・その他)
- ・ 女性=2人(60歳代=1人、80歳代=1人、その他=2人)

記入されていたコメント

- ・ よく議論して、結論が出てから試験するのがよい。(女性・その他)

* 質問 3:に③「これから先も中止した方がいい」と答えた人

- ・ 男性=9人(50歳代=3人、60歳代=3人、70歳代=3人、
公務員=2人、農林水産業=1人、その他=6人)
- ・ 女性=5人(50歳代=4人、60歳代=1人、
自営業=1人、農林水産業=1人、製造業=1人、その他=2人)

記入されていたコメント

- ・ プルトニウムが過剰であり、プルサーマルをやっても
その使用済核燃料の再処理はどうするのか。(男性・公務員)
- ・ 経済的にも、住民の毎日放出される放射能汚染による被害にも心配がある。
また、プルサーマルは行き詰まっており、
プルトニウムは原爆の他に使い道がない。(男性・農林漁業)
- ・ 結局、県議会全員協議会でも原子力政策懇話会でも、安全協定について
議論されておらないではないか。(男性・その他)
- ・ 国や原燃の訴える「事故はない。安全である。」という安全神話は、
全く信用できない。(男性・その他)
- ・ 再処理工場の操業は、中止するべし。(男性・その他)
- ・ ウラン試験でも、放射能が今以上に放出されます。絶対反対(女性・その他)

* 質問 3:に④「分からない」と答えた人

- ・ 女性=2人(60歳代=2人、その他=2人; 内1人は主婦と記入)

《自由欄へ記入されたコメント》

ウラン試験入りに賛成の方

- ・ 広い角度からの全体・情理の見極めが大事(男性・公務員)

- ・再処理操業は原子燃料サイクルを廻し、
我国のエネルギーセキュリティを確実なものにするために
真に重要です。いち早くの運開を期待します。(男性・製造業)

ウラン試験入りに慎重な方

- ・エネルギー政策上、原子力が必要であることは理解しているし、認めているので
プラス面・マイナス面をはっきりさせた説明で、
住民に納得させて欲しい。(女性・その他)
- ・安全性がきちんと説明されない。
さんの質問は分かり易く、私たちもそのように思っている。
原子力委員会の方々は説明がなされなかった。(女性・その他)

ウラン試験入りに反対の方

- ・このような会合での意見が反映するのか、どうか、疑問だ。(男性・公務員)
- ・県民の大多数が、危険を感じている。(男性・農林水産業)
- ・核燃サイクル問題に関して、嘘や情報隠しが当たり前のように
行われてきているのは、何故なのでしょう。
嘘をつかなければならないこと、隠さなければいけないことが、
沢山あるからでしょう。
これはエネルギー政策ではありません。(男性・その他)
- ・国や原燃が、国策として進めることに対して不信が深いため、
再処理事業のこれ以上の推進については、絶対反対です。(男性・その他)
- ・日本は海に囲まれています。この海からエネルギーを取り出す
クリーンなものに変える研究にこそ国のお金を使って、
後世にマイナスの原子力行政は止めるべき。(男性・その他)
- ・再処理工場の操業には反対 (男性・その他)
- ・さんの発言は残念 (女性・自営業)
- ・風評被害対策など未だ詳しく決まっていなくて、
再処理が動こうとすること信じられない。
孫子のことを考えると、この施設に賛成できない。地元の身になって下さい。
電気は必要だし、是非、新エネルギーに力を入れて、
一刻も早く安全な電気をと、願っています。(女性・農林水産業)
- ・原子力に頼らず電気をつくる方法を皆で研究し、考えてゆきたい。長い間
病院に勤め、白血病等の苦しみをみてきたから(女性・製造業)
- ・政策の転換といえば、原子力発電からの転換しか無いでしょう。
大事故の前に、一刻も早く転換するべきです。
放射性廃棄物は、青森でも日本国内の何処でも持ってきて欲しくないものです。
子供達のために、もうこれ以上放射能をつくってははいけません。
被曝労働を子供達にさせてはいけません。(首都圏へ出稼ぎの女性)
- ・大金と引き換えや、雇用と引き換えで、水・空気・土……や
子どもたちに何かあったら、取り返しがつかないのではないか。(女性・無職)

以上